

「トド文字一百条」と『三合語録』のモンゴル語の対応

| | |
|-----|---|
| 著者 | 栗林 均, 斯欽 巴圖 |
| 雑誌名 | 東北アジア研究 |
| 巻 | 14 |
| ページ | 189-225 |
| 発行年 | 2010-02 |
| URL | http://hdl.handle.net/10097/48287 |

「トド文字一百条」と『三合語録』のモンゴル語の対応

The Coincidence between Mongolian of *Sanhe-Yulu* and Written Oirat Translation of *tanggū meyen* (*The Hundred Chapters*)

栗林 均 (Hitoshi KURIBAYASHI)*
斯 欽 巴 図 (SECHINBAT)**

キーワード：『三合語録』、モンゴル語、満洲文字、オイラート文語、トド文字
Keywords : *Sanhe-Yulu*, Mongolian, Manchu script, Written Oirat, Todo script

1. はじめに

『三合語録』は、道光十（1830）年に北京で出版された木版刷りのモンゴル語学習書である（注1）。その内容は、清朝乾隆年間に編纂されたとされる満洲語口語学習書『*tanggū meyen*（一百条）』のモンゴル語訳であり（注2）、305丁（610頁）からなる本文は満洲語の原文とそのモンゴル語の訳文、および白話体漢語の訳文が3行一組の対訳の形で並べられている。

『三合語録』のモンゴル語は、当時の書き言葉として一般に用いられていたモンゴル文語ではなく、満洲文字で表記されたモンゴル語口語であることに大きな特徴がある。同書の序文には、「翻訳科挙ができて、満洲語とモンゴル語の学校が増えた。しかしモンゴル語の翻訳（文章）と口語は同じでないことから、智信の清語百条【一百条】を満洲語の文のままにモンゴル語に訳し、御前行走正紅旗満洲副都統巴林輔国公額駙德勒克（デレク）にモンゴル口語の発音に直させた」とあるように、同書がモンゴル語の口語の習得を目的として編纂されたことが記されている。

モンゴル語を表記するのに満洲文字を使用したのは、同書を利用する人が満洲文字を知っていることを前提としていたことと、モンゴル語の発音を習得するのにモンゴル文字より満洲文字の方が扱いやすかったことが考えられる。つまり、同書を教科書・学習書として使用することが想定されているのは、上掲の序文にあるように、翻訳科挙を受験する資格のある者、すなわち蒙古旗人の子弟であり、彼らにとって満洲文字・満洲語は習得していなければならない必須の知識であった。そして、モンゴル文字の特徴として、一つの文

* 東北大学東北アジア研究センター

** 東北大学大学院環境科学研究科博士後期課程

字が二つ以上の読み方（発音）をもつ多音字（polyphone）が少なくないのに対し、満洲文字は文字と発音がほぼ一対一で対応していて、綴り字の読み方にあいまい性がほとんど無いことから、発音を表記し、習得するのに適していたと考えられる。こうしたことから、満洲族がモンゴル語の発音を知るための手段としてモンゴル語の発音を満洲文字で表記するやり方は、すでに清文鑑や『三合便覧』等の辞典で行われていた（注3）。

一方、モンゴル文字は上述のように多音字を有しているために文字の読み方が一意的に決まらない場合が多い。それと並んで、すでに書き言葉として規範化された正書法（綴り字規則）が確立していたことから、固定化した綴りから逸脱して口語の発音を表記するには適していなかったと考えられる。

モンゴル語学の見地から極めて興味深く重要な問題は、『三合語録』において満洲文字で表記された当時のモンゴル語の「口語」とは一体どのようなものだったのか、具体的には現代のいずれの方言に関連するものか、ということである。『三合語録』の編者富俊は蒙古正黄旗人であり、上に引用した序文には「巴林輔国公の德勒克（デレク）にモンゴル口語の発音に直させた」とあることから、内モンゴルの巴林（バーリン）近辺のモンゴル語方言が関連していることを伺わせる（注4）。ところが、満洲文字の音価を推定した上で『三合語録』に表記されているモンゴル語の単語や語尾の形を検討すると、現代のバーリン方言をはじめ、チャハル方言、ホルチン方言など内モンゴルの方言に特徴的な要素を見出すことは困難であることが判明する。むしろ、そこには内モンゴル方言のいずれにも比定することのできない単語や語尾の形が散見されるのである。『三合語録』の、このような「風変わりな」モンゴル語の実態と口語方言との関係に関する研究はこれまでほとんど行われておらず、不明のまま残されていた（注5）。

栗林・斯欽巴図〔2009a〕は、全く別の角度から、この問題に解決の糸口を見出した。中国北京の故宫博物院図書館には『蒙古托忒彙集』と題するモンゴル語・オイラート文語・満洲語・漢語の4言語対照語彙集の写本が蔵されている。これは『三合語録』の著者と同じ富俊の撰によるもので、嘉慶2年（1797年）の序が付されている。この写本の序と本体の語彙集の間には、トド文字の字母表(3頁)とトド文字（オイラート文語）で記されたテキスト(12頁)が収められている。『蒙古托忒彙集』については、いくつかの文献目録の記載や春花〔2006；2008〕、晓春〔2006；2007〕らによる解題・紹介はあるものの（注6）、そこに収録されているトド文字のテキストの内容について言及したものは無かった。筆者らは、テキストの内容を検討して、それが『tanggū meyen（一百条）』のうちの7話分のオイラート文語訳であることを明らかにした上で、両テキストの類似・一致の度合いを検討して、『三合語録』のモンゴル語はこのオイラート文語訳（以下「トド文字一百条」と呼ぶ）に基づいて制作されたということを論証した。ここで「基づいて製作された」というのは、

単に一方が他方を参照したという類の関係ではなく、『三合語録』の満洲文字表記モンゴル語は、「トド文字一百条」のオイラート文語をそのまま忠実に満洲文字で表記しようとしたものであるという、極めて緊密な関係を指している。その結論は、すなわち「『三合語録』のモンゴル語は満洲文字で表記されたオイラート文語である」ということに他ならない。

* * *

筆者らは、『三合語録』のモンゴル語を読み進めていた、比較的早い段階でその中にオイラート語的な要素が含まれていることに注目していた。最初の数話の中にもすでに、オイラート方言らしい（オイラート方言に特徴的な）語彙や語尾が所々に見出されたからである（注 7）。『三合語録』のモンゴル語にオイラート方言的な要素が含まれているというのは、同書が北京で出版されたことや、同書の「序」に「巴林（バーリン）輔国公の德勒克（デレク）にモンゴル口語の発音に直させた」とある記述と直接結びつくものではなかったが、『三合語録』のモンゴル語の言語的な特徴を検討する上で不可欠な観点と思われた。このために、参考とすべきオイラート語の辞書・文典類を収集して『三合語録』に見出される意味不明の語句や形式をそれらの中に探索した。口語オイラート方言では、Ramstedt [1935]、确精扎布・格日勒图 [1998]、Тодаева [2001]、Муниев [1977] 等の辞書・語彙集で、オイラート文語では、Позднеев [1911]、Krueger [1978-1984]、确正扎甫・巴德玛 [1979]、烏恩奇・艾仁才 [2005] 等の辞書によって不明な語句を探索した。また文典では、Лувсанбалдан [1975]、サンボードルジ・橋本 [2005]、八省、区蒙古语文工作协作小组《蒙文和托忒蒙文》编写组编 [1976] などを参照して、オイラート方言に関連する形式を見出すことができた。

これと並行して、より古い時代のオイラート文語の辞書を探索しているうちに、行き当たったのが『三合語録』の編者富俊が編纂した『蒙古托忒彙集』であった。『蒙古托忒彙集』の一部の複写を入手して見たところ、序文と辞書の間に 3 頁のトド文字字母表と 12 頁のオイラート文語（トド文字）テキストが挿入されていた。このテキストの内容が、『三合語録』と合致していることに気がつくことができたのは、同じ時期に『三合語録』を読み進めていたことと関連している。『tanggū meyen（一百条）』のオイラート文語版が存在していたことを知ったのは大きな驚きであったが、さらに驚くべきことはそのオイラート文語の語句も語順も、『三合語録』のモンゴル語と全くと言っていいほど合致しており、その合致の程度は、両者を「同じ文章」とみなすことができるほど緊密なものであった。『三合語録』の満洲文字表記モンゴル語がオイラート文語版（「トド文字一百条」）に基づいて制作され、その表記はオイラート文語のトド文字表記の発音を忠実に写そうとしたものであることを、日本モンゴル学会の 2008 年度春季大会で発表し（斯欽巴図・栗林均 [2008]）、その内容を敷衍して同学会の紀要に公刊した（栗林・斯欽巴図 [2009a]）。

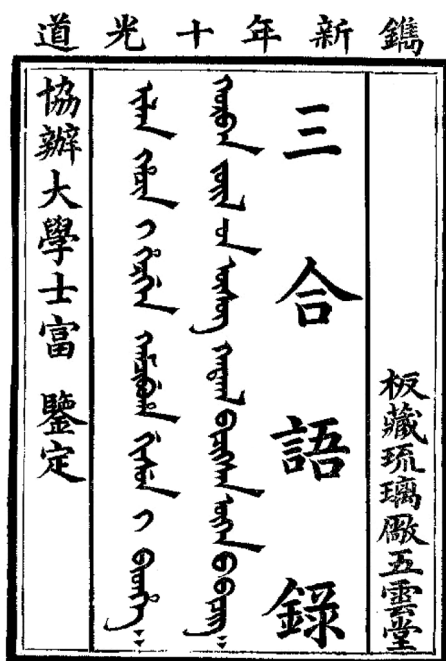


図 1. 1830 年初版表紙

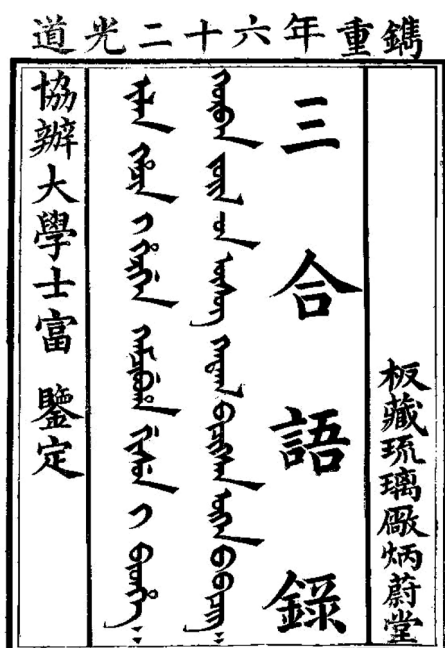


図 2. 1846 年重版表紙

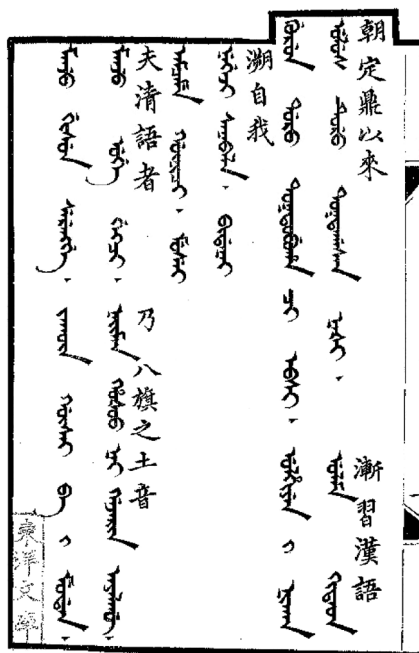


図 3. 序文第 1 頁

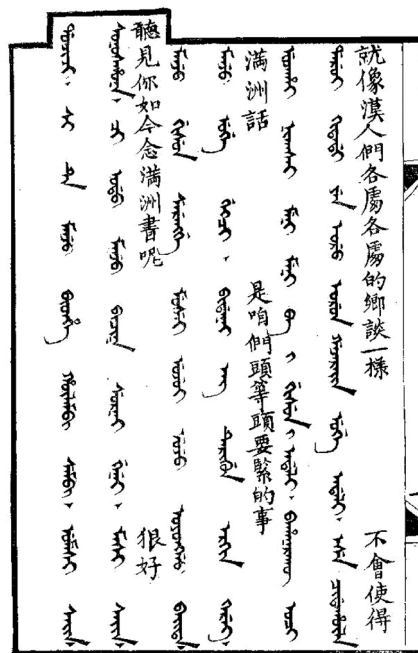


図 4. 本文第 1 頁

栗林・斯欽巴図〔2009a〕では、『三合語録』と「トド文字一百条」における名詞の格語尾、動詞の時制語尾と副動詞語尾の対応を示してその関係を論証したが、本文のテキスト自体の比較対照は、紙数の関係から、全7話のうち、1話分（『三合語録』の第5話）の半分程度に止めざるを得なかった。

本論考の目的は、『三合語録』における満洲文字表記モンゴル語と、「トド文字一百条」全7話のオイラート文語のテキストの全文を比較対照して、それらの対応の詳細を示すとともに、『三合語録』の満洲文字表記モンゴル語が、「トド文字一百条」のオイラート文語をそのまま満洲文字で表記しようとした」という実態を詳細に示すことである。

2. テキストとローマ字転写について

『蒙古托忒彙集』の文献学的な情報、およびそれに収録されている「トド文字一百条」については、栗林・斯欽巴図〔2009b〕で述べた。そこでは北京大学図書館所蔵の青焼き写真複製本をもとに、全テキスト12頁の影印、そのローマ字転写、注釈、およびそこで使われているトド文字とオイラート文語の特徴をまとめた。本論考における「トド文字一百条」のローマ字転写は、この方式による。

『三合語録』に関しては、栗林・斯欽巴図〔2009a : 7, 16〕において文献学的な概略を記した。同書には道光十（1830）年の琉璃廠五雲堂初版本と道光二十六年（1846）年の琉璃廠炳蔚堂重版本がある。図1. は前者の、図2. は後者の表紙であるが、出版年の表記（最上段の「道光十年新鐫」と「道光二十六年重鐫」）および出版元の表記（右枠内の「板蔵琉璃廠五雲堂」「板蔵琉璃廠炳蔚堂」）は異なるものの、監修者の名前（左枠内の「協辦大學士富 鑒定」）とタイトル（中央枠内）は全く同じである。タイトルには、次のように満洲語（満洲文字）、モンゴル語（モンゴル文字）、漢語が並んでいる（注8）。

満洲語 : ᠶᠡᠯᠠᠨ ᠬᠠᠴᠢᠨ ᠶᠡᠷᠭᠡᠨ ᠬᠠᠮᠴᠢᠪᠠ ᠭᠢᠰᠤᠨ ᠶᠡᠪᠢᠳᠡ
(ilan hacin i hergen kamcibuha gisun i bithe)
モンゴル語 : ᠶᠡᠯᠠᠨ ᠬᠠᠴᠢᠨ ᠤᠨ ᠤᠰᠦᠭ ᠠᠳᠠᠮᠠᠯ ᠪᠢᠴᠢᠨ ᠭᠢᠨᠡᠭ ᠤᠪᠢᠴᠢᠭ
(ṡurban jūil-ün üsüg qadamal biči=gsen ügen-ü bičig)
漢語 : 三合語録

満洲語とモンゴル語のタイトルを直訳すれば、「三種類の文字を合わせ（て書い）た言葉の書」となる。同書では、本文の中のモンゴル語はすべて満洲文字で表記されているが、表紙のモンゴル語だけは、モンゴル文字による伝統的なモンゴル文語である。ただし、モンゴル語の中で、ᠠᠳᠠᠮᠠᠯ (qadamal) と綴るべき語が、両書とも ᠠᠳᠠᠮᠠᠯ と誤刻されている。

『三合語録』は、序（7丁）と本文（305丁）からなる。初版（道光十年新鐫）は4分冊、重版（道光二十六年重鐫）は6分冊となっているが、丁付けも内容も全く同じである。図3. は序文の、図4. は本文の、それぞれ最初の頁の影印である（注9）。

『三合語録』のモンゴル語表記に使われている満洲文字の種類は、普通の満洲語表記に使われている字母と同じで、それに新たな文字や記号は加えられていない。また、正書法に関しても、満洲語に無い音を表すために文字の特別な組み合わせや綴りが採用されているということもない（注 10）。つまり、満洲文字の字母をそのまま用いて、満洲語の正書法にしたがってモンゴル語を表記している。『三合語録』のモンゴル語が満洲語の文字体系の中でその綴り字規則にしたがって表記されている以上、そのモンゴル語をローマ字転写する際には、まず満洲語のローマ字転写方式に従って転写することが適当と考えられる。栗林・斯欽巴図 [2009a] で、『三合語録』の満洲文字表記モンゴル語を、Möllendorff [1892] 方式によって転写したのはこうした理由によっている。本論考においても、『三合語録』のモンゴル語は同様の方式によってローマ字転写を行う。

3. 両テキストの文字の対応について

本論考では『三合語録』の満洲文字表記モンゴル語と「トド文字一百条」のオイラート文語をローマ字に転写して互いに比較・対照を行う。上述のように、『三合語録』のモンゴル語には満洲文字のローマ字転写方式を用い、「トド文字一百条」のオイラート文語にはトド文字のローマ字転写方式を用いる。それぞれのローマ字転写方式は、用いるローマ字の種類も、転写の方式も同じではない。これは、たとえ互いに同じローマ字を用いていても、それぞれの文字体系における価値は等しいとは限らないということを意味している。また、異なったローマ字であっても近似する音を表している場合もある。ここでは、両者のローマ字転写で用いられている文字の対応関係をまとめておくことにする。

3-1. 母音字の対応

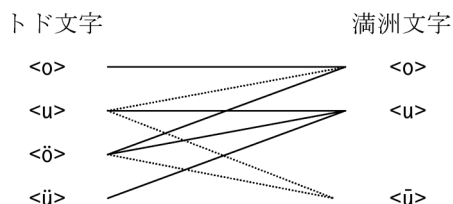
(1) トド文字の短母音字と満洲文字の対応

| | | | | | | | | | | | |
|------|---|---|---|---|---|----|----|---|----|----|---|
| トド文字 | a | e | i | o | u | | | ö | | | ü |
| 満洲文字 | a | e | i | o | u | ū① | o② | u | ū③ | o④ | u |

説明：①トド文字の <xu><γu> に対応する場合 ②第 1 音節に <o> をもつ単語の第 2 音節以降に現れる場合 ③絶対語頭に現れる場合 ④絶対語頭以外の第 1 音節に現れる場合。

表にみるように、非円唇母音字に関しては、トド文字の <a> <e> <i> と満洲文字の <a> <e> <i> は、一対一で対応している。これに対して、トド文字の円唇母音字 <o> <u> <ö> <ü> と満洲文字の <o> <u> <ū> との対応は単純ではない。

次の図は、これらの対応を別の形でまとめたものである。図の中で、実線で示したのは一般的な（多くみられる）対応であり、波線は何らかの条件の下における対応である。



満洲文字の3種類の母音字 (<o> <u> <ü>) のうち、<u> は、トド文字の <u> <ö> <ü> という3種類の母音字に対応して、最もよく用いられる。これに対して、満洲文字の <ü> はトド文字の特殊な結合 (<xu>, <yu>) における <u> (①)、および絶対語頭に現れる <ö> に対応している (③)。満洲文字の <o> は、トド文字の <o> に対応しているほか、第1音節の <ö> (絶対語頭でない場合) (④) および、トド文字で第1音節の <o> に後続する第2音節以降の <u> に対応している (②)。

(2) トド文字の長母音字と満洲文字表記の対応

| トド文字 | ā | ē | iyi | ī | ō | uu,ou | õ | üü,öü |
|------|---|---|---------|---|---|--------------|------|------------|
| 満洲文字 | a | e | ie,ii,i | i | o | ao,oo,uo,u,ū | u,eo | eo,oo,uo,u |

満洲文字には、単独で長母音を表す文字が無いので、トド文字の長母音 <ā> <ē> <ī> <ō> <õ> <uu,ou> <üü,öü> に対しては、多くの場合満洲文字のひとつの母音字 (<a> <e> <i> <o> <u>) が対応している。その他、トド文字の <iyi> <uu,ou> <üü,öü> に対しては、二つの母音字を組み合わせた満洲文字が対応する場合があるが、その表記方法は様でない。

この中、トド文字の <iyi> に対して満洲文字の <ie> が対応しているのは、満洲語の正書法で「<yi>という結合がない」という制約によるものであろう。同様に、トド文字の <uu,ou>, <üü,öü> に対して、満洲文字で <oo> が対応しているのは、満洲語の正書法で円唇母音字の連続は <oo> しかないという制約によるものと考えられる。

一方、短母音字の対応で見たように、トド文字の <u>, <ü> に対して、多くの場合満洲文字の <u> が対応しているため、満洲文字の <oo> の一番目の母音字を <u> とした <uo> が用いられたと考えられる (<uo> は普通の満洲文字の綴りには現れない)。

(3) トド文字の二重母音字と満洲文字表記の対応

| トド文字 | ayi/ai | eyi/ei | oyi/oi | uyi | üyi/üi | iu | iü |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|----|----|
| 満洲文字 | ai | ei | oi | ui,oi* | ui | io | io |

説明：斜線「/」の左は語頭・語中形に現れる形で、右は語末に現れる形。アスタリスク「*」は、トド文字の <xui>, <yui> の <ui> に対応する場合。

トド文字の子音字 <x> <y> の直後に現れる <u> に対しては、通例満洲文字の <ü> が対応している。これから、トド文字の子音字 <x> <y> の直後に現れる <uyi> に対しても、満

洲文字 <üi> が対応することが予測されるが、実際は満洲文字の <oi> が対応している。これは、満洲語の正書法で <üi> は語末にしか書かれないという制約によるものと考えられる。

また、トド文字の <iu> と <iü> に対して、満洲文字の <io> が対応しているのも、満洲語の正書法では、母音字が連続する場合に 2 番目の円唇の母音字としては <o> しか現れないという制約によるものと考えられる。

3-2. 子音字の対応

| | | | | | | | | | |
|------|---|----|---|---|---|---|------|------|------|
| トド文字 | n | ng | b | m | l | r | x | γ | g |
| 満洲文字 | n | ng | b | m | l | r | h(ᠬ) | g(ᠭ) | g(ᠭ) |

| | | | | | | | | | |
|------|-------|---------------|---|-------|---|-------|---|--------|---|
| トド文字 | k, ḳ | q | s | š | t | d | č | ǰ, ǰ' | y |
| 満洲文字 | k(ᠬ) | k(ᠬ/ᠬ), (ᠬ/ᠬ) | s | š, s① | t | d, t② | c | ǰ, dz③ | y |

説明：①母音字<i>の前 ②音節末 ③buyiǰa~boidze/boidza「だろう」のみ

ほとんどの場合、トド文字の子音字と満洲文字の子音字は、一対一で対応している。両者の発音も、類似したものであったと考えられる。

4. テキストの対照

ここでは、『三合語録』（第 1 話～7 話）の満洲語と、満洲文字表記モンゴル語、またそれに対応する「トド文字一百条」のオイラート文語のローマ字転写、日本語訳を示し、簡単な注を付す。テキストの略字は以下の通りである。

満 = 『三合語録』の満洲語

蒙 = 『三合語録』のモンゴル語（満洲文字表記）

托 = 「トド文字一百条」のオイラート文語（トド文字）

日 = 日本語訳

丁付けは『三合語録』による。頁の上部に丁番号（1a [第 1 丁表]～23b [第 23 丁裏]）、行ごとに行番号（1～3）を付した。

凡例

1. 満洲語と、満洲文字表記モンゴル語のローマ字転写テキストについて

(1) 満洲文字のローマ字転写は Möllendorff [1892] 方式によるが、次のような補助記号を付した。

「{}」：句点の欠落を補ったもの。

「!」（感嘆符）：「原文のまま」の意味。

「'」(アポストロフィ): 母音字<u>、または子音字<n>、<h>、<g>における圈や点の欠落を示す。

このほか、満洲文字表記モンゴル語には以下の補助記号を付した。

「=」(イコール): 動詞語幹と活用語尾との境界。

「+」(プラス): 名詞類の語幹と連綴される曲用語尾との境界。

「-」(ハイフン): 名詞類の語幹と分綴される曲用語尾との境界。

「_」(アンダースコア): 一つの単語や語尾が分綴される場合、その境界。

「*」(アステリスク): 連綴される単語間の境界。

(2) 句読点は一点と二点の 2 種類ある。二点は各話(条)の最後に置かれ、それ以外はすべて同じ記号(一点)である。本稿では二点を「..」(ピリオド 2 個)とし、一点に関しては文末は「.」(ピリオド)に、句の切れ目は「,」(コンマ)にした。

2. オイラート文語のローマ字転写テキストについて

(1) ローマ字転写方式はサンボドルジ・橋本[2005]による。用いる補助記号(「=」、「+」、「-」、「_」、「*」、「!」)は満洲文字表記モンゴル語のローマ字転写の場合と同じである。

(2) <᠋> は j、<᠋> は d と転写する。また ᠋ (満洲) の ᠋ は j' と転写する。

(3) 句読点は四点和二点の 2 種類ある。四点は各話(条)の最後に置かれ、それ以外はすべて同じ記号(二点)である。本稿では四点を「::」(コロン 2 個)としたが、二点に関しては文末は「.」(ピリオド)に、句の切れ目は「,」(コンマ)にした。

(4) 紙の破損や汚れ等により判読困難な箇所は [] (カギカッコ) に入れた。カッコには推定される形式を補ったが、不明の場合は [...] のようにした。

3. 日本語訳について

(1) 訳は基本的に『三合語録』のモンゴル語に従い、『三合語録』の満洲語および「トド文字一百条」のオイラート文語を適宜参考にした。

(2) 『三合語録』の満洲語および「トド文字一百条」のオイラート文語の語句が『三合語録』のモンゴル語と明かに異なる場合、注を付した。

(3) 個々の会話は「」でくくった。会話中に引用される別の会話は『』に入れた。

4. 注釈について

(1) 頁ごとにローマ字転写と訳の注を付した。注は、出現位置と該当のローマ字転写形を示し、説明を付した。

(2) 注の中で『三合語録』は『語録』と、「トド文字一百条」は「トド」と略した。

1a

『三合語録』の第1話、「トド文字一百条」の第5話

- 1 満 donjici, si te manju bithe hūlambi sembi. umesi sain.
 蒙 sonos=hona, ci odo manju bicik sur=nai ge=nei. masi sain.
 托 sonos=xuna či odō manj'u bičiq sur=nai ge=nei. maši sayin.
 日 「聞けば、あなたは今満洲語の書を学んでいるそう。とてもよい。」
- 2 満 manju gisun serengge{,} musei ujui uju oyonggo baita.
 蒙 manju uge ge=kci, bidan+ai eng terigun erkin kerek.
 托 manj'u üge ge=qči, bidan+i eng terigūün erkin kereq.
 日 満洲語というのは、我々の第一に大切なことだ。
- 3 満 uthai nikasai meni meni ba i gisun i adali. bahanarakū oci
 蒙 darui kitad+i_yen eoru eor+un gajar+ain uge adali. ese cida=hūla
 托 darui kitad+iyin ōr ōr+ön gaġar+iyin üge adali. ese čida=bala[!]
 日 すなわち 漢の 各々の 土地の 言葉と同じで、 できなければ

1b

- 1 満 ombio. inu waka oci ai. bi juwan aniya funceme
 蒙 bol=neo. teimi biši bol=hūna yun bi. bi arban jil iluo
 托 bol=nu. teyimi biši bol=xuna youn bi. bi arban jil ilöü
 日 ならない。」「そうでなくて何だ（その通りだ）。私は 十 年 以上
- 2 満 nikan bithe hūlaha. tetele umai dube da tucikekū.
 蒙 kitat bicik sur=ba. odo bol=tolo tung eki tologai gar=san ugei.
 托 kitad bičiq sur=ba. odō bol=tolo tong eki toloyoi ġar=san [ügei.]
 日 漢文の書を 学んだ。今になるまで 全然 頭が 出なかった。
- 3 満 jai aikabade manju bithe hūlarakū, tacime ubaliyamburakū
 蒙 kerbe basa manju bicik ungsi=hū ugei, sur=ci orciol=hū ugei
 托 kerbe basa manj'u bičiq ungši=xu ügei, orčiul=xu ügei sur=xu ügei
 日 もし また 満洲語の書物を読まない、 学んで 翻訳しない

1a3 蒙 gajar+ain : 『語録』全篇において属格語尾の +ain という形はこの1例のみ。

1a3 托 čida=bala[!] : 語尾を書き換えた跡があり、元の字形は čida=xula に見える。

1b2 托 [ügei.] : 満洲語の意味、およびモンゴル語との対応から ügei と推定される。

1b3 托 orčiul=xu ügei sur=xu ügei : 「翻訳しない、学ばない」の意。『語録』と異なる。

2a

- 1 満 oci, juwe de gemu sartabure de isinambi. uttu
 蒙 bol=hūna, hoyor tala cum satu=hū-du kur=nei. im+i-yen
 托 bol=bala[!], xoyor tala čöm sātu=xu-du kür=nei. im+iyin
 日 なら、 両方とも 皆 立ち遅れる ことになる。このような
- 2 満 ofi, bi emde oci, age be tuwanjiha. jaide
 蒙 tula, bi nigen-du bol=hūna, abagai-ji[!] uje=ke ire=be. jici
 托 tula, bi nigen-dū bol=xuna, abayayi+gi üje=kē ire=be. jiči
 日 訳で、私は ひとつには、 兄上に 会いに 来た。 さらに
- 3 満 oci, geli sakda ahūn de baire babi. damu baibi
 蒙 basa ūbugun ah+asu goi=hū gajar bai=nai. yuru
 托 basa öbügün ax+āsu γuyi=xu γajar bayi=nai. yerü
 日 また 老 兄に お願いしたいことがある。 ただ

2b

- 1 満 angga juwara de mangga. ede aibi. gisun bici
 蒙 ama ne=ku-du keceo. un+du yeo*bi. uge bai=hūna
 托 ama nē=kü-dū kečöü. öün-dū youn bi. üge bayi=bala[!]
 日 口を 開き (言い) にくい。」 「そんなことはない。 話が あれば
- 2 満 uthai gisure. mini mutere baita oci, sinde bi
 蒙 darui kele=. mino cida=hū kerek bol=hūna, cima+du bi
 托 darui kele=. mini čida=xu kereq bol=xuna, čima+du bi
 日 直ちに言いなさい。私の できる こと なら、 あなたに対して私
- 3 満 geli marambio. mini bairengge. age gosici, šolo šolo de
 蒙 basa erele=nu. mino goi=hū*ni abagai hairala=hūni, culu culun-du
 托 basa erēle=nū. mini γuyi=xu*ni abayai xayirla=xuni, jobo=nai ge=ji yaga=nai.
 čola čola ker
 日 も遠慮するか。」 「私の 願いは 兄上が 慈しむなら、 暇な折に

2a1 托 bol=bala[!] : 語尾を書き換えた跡があり、元の字形は bol=xuna に見える。

2a2 蒙 abagai-ji[!] : 対格語尾 -gi の誤記。

2b1 托 bayi=bala[!] : 語尾を書き換えた跡がある。

2b3 托 jobo=nai ge=ji yaga=nai : 「面倒でも仕方がない」の意。『語録』には対応する語がない。

3a

- 1 満 udu meyen manju gisun banjibufi minde hūlabu'reo. deo
 蒙 kedui anggi manju uge joki=yat nada ungsiol=hū bol=boo. deo
 托 kedün anggi manj'u üge joki=γād, nada ungšiul=xu bol=buu. döü
 日 何篇かの 満洲語を 作って、 私に 読ませてもらえないか。 弟（私）が
- 2 満 bahafi hūwašaci, gemu agei kesi kai. ainaha seme
 蒙 ol=ji kumun bol=bogem, cuk abagai-yen kesik bisio. yaka=bacu
 托 bi ol=ji kümün bol=bo gem, čuq abayai-[yi]n kišiq bišiü. yaya=ba ču
 日 一人前になることができれば、 すべて兄上の お蔭ではないか。 決して
- 3 満 baili be ongorakū. bi urunakū ujeleme karulaki.
 蒙 aci+i-gi marta=hū ugei. bi erke ugei kundu+de hariol=ya.
 托 ači+yigi marta=xu ügei. erke ügei kündü-dü xariul=ya.
 日 ご恩を 忘れず、 私は 必ず 厚く 報いましょう。」

3b

- 1 満 ainu uttu gisurembi. si aika gurun gūwa nio.
 蒙 yun+du eige=ji kele=nei. ci yeru bisi ulus yeo.
 托 youn-du iyige=ji kele=nei. či yerü biši ulus*yu.
 日 「何で そのように言うのか。あなたは 全く 他人か。」
- 2 満 damu tacirakū be hendumbidere. taciki seci tetendere, bi
 蒙 gakca sur=hū ugei-gi kele=ku boidze. sur=ya ge=begem{,} bi
 托 [yaq]ča čini sur=xu ügeyi+gi kele=kü buyiža. sur=ya ge=begem, bi
 日 ただ 学ばないのを 言うのだろう。 学ぼうと言うからには、 私は
- 3 満 nekulefi simbe niyalma okini sembikai. karulaki serengge ai
 蒙 jalbari=ji cima+igi kumun bol=tugai ge=ne bisio. hariol=ya ge=kci yamar
 托 jalbari=ji čima+yigi kümün bol=tuyai ge=ne bišiü. xariul=ya ge=qči yamar
 日 ただ あなたが一人前になれと言うのではないか。 報いようと言うのは 何たる

3a1 満 hūlabu'reo : 母音字<u>の補助記号の点が欠落している。

3a2 托 bi : 「私が」の意。『語録』には対応する語がない。

3a2 托 abayai-[yi]n : 語尾は、他の箇所に見れる形から -yin と推定される。

3b2 托 [yaq]ča : 『語録』の満洲語の意味、またモンゴル語との対応から yaqča と推定される。

3b2 托 čini : 「あなたの」の意。『語録』には対応する語がない。

4a

- 1 満 gisun. musei dolo gisureci ombio. tuttu oci, bi
 蒙 uge. bidan+ai dotoro kele=ji bol=nao. tei=kule, bi
 托 üge. bidan+i dotoro kele=ji bol=nu. teyi=külē, bi
 日 言葉か。私たちの間で 言っていていいことか。「それなら、私は
- 2 満 hukšehe seme wajirakū. damu hengkišeme baniha bure
 蒙 sujukle=ji šutu=sar barasi ugei. yeru murgu=ser tala ukusu[!]
 托 süjüqle=ji šütü=qsēr baraši ügei. yerü mürgü=sēr tala ökükü[!]
 日 頼りにし 畏敬して 尽さない。 ただ 叩頭して 感謝するより
- 3 満 dabala, aisere ..
 蒙 biši, yeo ge=ku bi ..
 托 biši, you ki=kü bi :: . ::
 日 他に、 何が言えるか。」

4b

『三合語録』の第2話、「トド文字一百条」の第6話

- 1 満 sini manjurarangge majige muru tucikebi. aibi. bi niyalmai
 蒙 manju kele cini kele=kse*ni bahan ayatai bol=ji. hama bai=nai. bi kumun+ei
 托 manj'u kele čini kele=qse*ni bāxan ayatai bol=ji. xamā bayi=nai. bi kümün+ei
 日 「満洲語は（あなたの）話すのは 少し 滑らかになった。」「とんでもない。私は人の
- 2 満 gisurere be ulhire gojime, beye gisureme ohode oron unde.
 蒙 kele=sein+i mede=becigi, mini beye kele=kuni basa edui.
 托 kele=seyin+i mede=bečigi, mini beye kele=küni basa edüi.
 日 話したのは 分かるが、 自分が 話せば まだまだ。
- 3 満 gūwa niyalmai adali fiyelen fiyelen i gisureme muterakū teile
 蒙 üre kumun+ai adali bukul+er kele=ji cida=hū ugei todoi
 托 kümün+ei adali бүкүл+ēr kele=ji čida=xu ügei tödüi
 日 他の 人の ように まとめて 話すことができない だけで

4a2 蒙 tala ukusu[!] : ukusu の成り立ちは不明であるが、tala uk=「感謝する」の形動詞未来形に奪格語尾が付いた形と思われる。『語録』には、満洲語 dabala「だけ」に対応するモンゴル語に「(形動詞未来形) + 奪格 + 否定の助詞 (biši)」が付く例が多い。

4a2 托 tala ökükü[!] : ökükü の二番目の kü は書き換えた跡がある。

4b3 蒙 üre : 満洲語の gūwa に対応しているが、「トド」には対応する語がない。

5a

- 1 満 akū, emu siran i duin sunja gisun gemu sirabume
 蒙 biši, nigen dara+goor durbu tabun uge ci bol=ba cuk jalga=ji
 托 biši, nigen darā+your dōrbō tabun üge či bol=ba, čuq jalγa=ji
 日 なく、ひと続きに 四 五 語であっても、すべて 続けることが
- 2 満 muterakū. tere anggala, hono emu aldunga babi.
 蒙 cida=hū ugei yeoma. tereci bai=tugai, harin nige jiktai yeoma bai=nai{.}
 托 čida=xu ügei youman. tere či bayi=tuγai, xarin nige jiqtei youman bayi=nai.
 日 できない のだ。 それだけでなく、 却ってひとつ変な こと がある。
- 3 満 gisurere onggolo baibi tašararahū calaburahū seme tathūnjame,
 蒙 kelelce=kui-yen orida demeile tašara=hū bol=boo endeore=ku bol=boo ge=ji
 tatagalj=at,
 托 kelelče=kü+yin urida dimiyila tašāra=xu bol=bou, endöüre=kü bol=bou ge=ji
 tataγalj=ād
 日 話をする 前に ただ 間違えるのではないかと、 誤るのではないかと
 ためらって、

5b

- 1 満 gelhun akū kengse lasha i gisurerakū. uttu kai, adarame
 蒙 yeru eres tes kelelce=ku tengke ugei. iimi bai=tala, nama+igi yaga=ji
 托 yerü eris t[..] [kele]lče=kü tengkē ügei. iyimi bayi=tala, nama+yigi yaγa=ji
 日 全然 きっぱりと 話す 自信がない。 こんなでいて、 私に どうして
- 2 満 mimbe gisure sembi. bi inu gūnin usaka. gūnici,
 蒙 kele= ge=nei. nada sur=hū sanan yuru bai=ji. sana=hana,
 托 kele= ge=nei. nada sur=xu sanān yerü bayi=ji. sana=xana
 日 話せと 言うか。 私には学ぶ気が 全くなかった。 思えば
- 3 満 ai hacin i taciha seme, ineku ere hūman dabala.
 蒙 yamar juil+er sur=bacu, basa ene bitur boidza.
 托 yamar jüyil+ēr sur=ba ču, basa ene bitür bayi=tuγai[!]
 日 どんなやり方で 学んでも、 やはり この 程度 だろう。

5b1 托 t[..] [kele]lče=kü: 字形の一部は不明。

5b2 満 mimbe: 「私に」の意。5b1のモンゴル語の nama+igi 「私に」が対応している。

5b3 托 bayi=tuγai[!]: 「～だけでなく」の意。書き換えた跡があり、元の字形は buyiγa 「だろう」に見える。

6a

- 1 満 nonggibure aibi. ere gemu sini urehekū i haran. bi
 蒙 neme=ji cida=hū ge=jio. ene cum cini ese das=u=ksan hariya. bi
 托 neme=ji cida=xu ge=jiū. ene čöm čini ese das=u=qsan xariya. bi
 日 進歩できるだろうか。」 「それはすべてあなたが慣れなかったためだ。 私は
- 2 満 sinde alara. yaya we be seme ume bodoro. damu
 蒙 cima+du ja=ji kele=ku. ken ken ci bitugei bodo=. yeru
 托 čima+du jã=ji kele=kū. ken ken čī bitūgei bodo=. yerū
 日 あなたに教えて言う。 誰でも 構うことはない。 ただ
- 3 満 ucaraha ucarahai uthai amcadame manjura. jai nomun de
 蒙 tokuldu=ksar uje=ci ere ugei kele=. basa nom+du
 托 tokōldu=qsan+i üje=ji erē ügei kele=. basa nom-du
 日 会ったらすぐ 見て 遠慮なく話さない。 また 経書に

6b

- 1 満 mergen baksi urse be baifi tanggūt bithe taci.
 蒙 mergen guoši ulus+uigi eri=ji tanggūt bicik sur=.
 托 mergen güüşī ulus+uyigi eri=ji tangyud bičiq sur=.
 日 通じた 先生たちを 搜して チベット語を 学びなさい。
- 2 満 manju gisun de mangga gucusei baru gisure. inenggidari
 蒙 manju ugen-du keceo nukut+tei kelelce=. odur bolgon
 托 manj'u üge+dü kečöü nöküd+tei kelelče=. ödür bolγon
 日 満洲語に 強い 友人たちと 話さない。 毎日
- 3 満 tacici gisun ejembi. erindari gisureci ilenggu urembi.
 蒙 cejile=ku uge temdekle=ku, cak bolgon kelelce=bele kele ayatai bol=hū bišio.
 托 čējile=kū üge temdeqlē=kū čaq bolγon kelelče=bele, kele ayitai bol=xu bišiū.
 日 暗記して 言葉を 記し、 常時 話せば 舌が滑らかになるではないか。

6a2 満 alara : 「言う、告げる」の意。モンゴル語で ja=ji kele=ku 「教えて言う」とある。

6a3 満 ucaraha ucarahai uthai amcadame manjura : 「会ったらすぐに遠慮なく満洲語で話さない」の意。モンゴル語訳は満洲語と異なり、「トド」と一致している。

6b3 満 tacici gisun ejembi : 「(毎日) 学べば言葉を記憶する」の意。モンゴル語訳は満洲語と異なり、「トド」と一致している。

7a

- 1 満 uttu ome genehei, manggai emu juwe aniyai sidende
 蒙 eige=ji sur=bala, yaga=bacu nigen hoyor jil+in horon+du
 托 eyige=ji sur=bala, yaya=ba ču nige xoyor jil+iyin xōron-du
 日 このようにして学べば、どうしても 一 二 年の 間に
- 2 満 ini cisui gūnin i cihai anggai ici gisureme mutembi kai.
 蒙 jaya+dan sanan+ai dur+ar aman+ai jorig+ar kele=ji cida=hū baha.
 托 jayān+dān sanān+ai dur+ār aman+i joriγ+ār kele=ji čida=xu baxana.
 日 自然に 心の思うままに 口の めざすままに 話すことができるのだ。
- 3 満 muterakū jalin geli ai joboro ..
 蒙 cida=hū ugei tula basa yeo jobo=hū bui ..
 托 čida=xu ügei tula basa you jo[bo]=xu bui :: . ::
 日 できないからといって また 何を 悩むことがあるか。」

7b

『三合語録』の第3話、「トド文字一百条」の第7話

- 1 満 age sini manju gisun ai šolo de taciha. mudan
 蒙 abagai cini manju uge yamar culun-du sur=san bui. ayalgū
 托 abayai čini manj'u üge yamar čolo-du sur=san bui. ayalayū
 日 「兄上、あなたの 満洲語は どのような暇に 学んだのか。 発音
- 2 満 gairengge sain bime getuken. mini manju gisun be ai
 蒙 ab=hū*ni sain bol=ot todo. mini manju uge+gi yeo
 托 ab=xu*ni sayin bol=ōd, todo. mini manj'u üge-gi you
 日 するのが 上手で、 明瞭だ。」 「私の 満洲語を 何に
- 3 満 dabufi gisurere babi, age gosime uttu dabali maktambi.
 蒙 toco=ji kelelce=ku bui. abagai hairala=ji eige=ji ketu makta=hū boidza.
 托 tōčo=ji kelelče=kū bui. abayai xayirla=ji eyige=ji ketū maqta=xu buyija.
 日 数えて 言うか。 兄上は 慈しんで そのように 過分に 褒めるのだらう。

7a1 満 uttu ome genehei : 「このようにして行きながら」の意。

7a3 托 jo[bo]=xu : 『語録』の満洲語の意味とモンゴル語の対応から jobo=xu と推定される。

7b2 托 todo : 書き換えた跡がある。下の句点（二点）の一つの点が欠落している。

7b3 満 babi : 「ことがあるか」の意。

8a

- 1 満 mini emu gucu i manju gisun sain. getuken bime
 蒙 mino nige nukur+i_yen manju uge sain. todorhoi bol=ot
 托 mini nige nökur+iyin manj'u üge sayin todorxoi bol=öd
 日 私の 一人の 友人の 満洲語は 上手で 明瞭で あって
- 2 満 dacun. majige nikan mudan akū. umesi urehebi. tuttu
 蒙 hūrca. bicihan ci kitat ayas ugei. masi bolbosur=ji. teimi
 托 xurča. bičixan čī kitad ayis ügei. maši bolbosur=ji. teyimi
 日 鋭い。 少しも 漢語 なまりがない。とても 熟達している。そうして、
- 3 満 bime{,} šan geli fe. imbe teni sain seci
 蒙 bol=ot, uliger basa olon mede=ne. tere saya mergen ge=ji
 托 bol=öd, üliger basa olon mede=nei. tere saya mergen ge=ji
 日 昔話 も 沢山 知っている。彼 なら 賢い と

8b

- 1 満 ombi. i sinci antaka. bi adarame tede duibuleci
 蒙 bol=o=nai. tere cim+asu yamar bui. bi yaga=ji tun+du adalitha=ji
 托 bol=o=nai. tere čim+āsu yamar bui. bi yaγa=ji töün-dü adlid_xa=ji
 日 言える。」「彼はあなたと比べてどうか。」「私が どうして 彼に 比べられ
- 2 満 ombi. fuhali terei bakcin waka. abka na i gese
 蒙 bol=hū bui. tung tun+ai kiri biši. tenggeri gajari adali
 托 bol=xu bui. tong töün+ei kiri biši. tenggeri γaγar adali
 日 ようか。 とても 彼の 比ではない。天と 地の ように
- 3 満 giyalabuhabi. turgun ai seci, ini tacihangge šumin.
 蒙 alusla=ji bai=na. ucir yun bi ge=kune, teon+ai sur=su*ni narin.
 托 alusla=ji{.} učir youn bi ge=küne, töün+ei sura=su*ni narin.
 日 かけ離れている。その理由は何かと言えば、彼の 学んだことは詳しい。

8a3 満 šan geli fe: 直訳すれば「耳も古い」の意。

8b1 托 bol=o=nai: 書き換えた跡がある。二番目の o の字形は他の箇所と異なる。

8b2 蒙 kiri biši: 「相手ではない」の意。

8b3 托 alusla=ji: この語で文が終わるが、句点がない。

9a

- 1 満 bahanahangge labdu. bithede niša amuran. tetele hono
 蒙 mede=se*ni olon. bicik-tu nibsire=tele duratai. odo bol=tolo basa
 托 mede=se*ni olon. bičiq-tü duratai, odō bol=tolo, basa
 日 知っていることは多い。書物が 非常に 好きで、 今に至る も
- 2 満 angga ci hokoburakū hūlambi. gala ci aljaburakū
 蒙 aman+asa jaila=hū ugei cejile=ser bai=nai. gar+asu anggijira=hū ugei
 托 aman+āsan jayila=xu ügei čējile=sēr bayi=nai. yar+āsu angkiḡjira=xu ügei
 日 口から 離れずに 暗記している。 手から 離さず
- 3 満 tuwambi. imbe amcaki seci{,} yala mangga. age
 蒙 uje=ser bai=nai. teon+igi guice=ye ge=bele, uner berke bišio. abagai
 托 üje=sēr bayi=nai. tōün+iyigi güyiče=ya ge=bele, ünēr berke bišiü. abayai
 日 見ている。 彼に 追いつこうと言えば 本当に難しいではないか。」「兄上、

9b

- 1 満 sini ere gisun majige tašarabuhakū semeo. hing sere
 蒙 cini ene uge bahan tašara=ksan ugei ge=neo. cing unen
 托 čini ene üge bāxan tašāra=san ügei ge=nüü. čing ünēn
 日 あなたのその言葉は 少し 間違っていないか。 真剣に
- 2 満 oci, hada de hafumbi sehebi. tere inu tacifi
 蒙 bol=hūla, hada-du nebtēre=nai ge=ji kele=dek. tere basa sur=ji
 托 bol=xulā, xada nebtēre=nei ge=ḡji kele=deq. tere basa sur=či
 日 なれば 岩を 貫く と言う。 彼も また 学んで
- 3 満 bahanahangge dabala. umai banitai sarangge waka kai. muse tede
 蒙 cida=ksa*ni boidza. yeru turulki mede=ku*ni biši. bida tun+du
 托 čida=qsa*ni buyiḡa. yerü törölki mede=kü*ni biši. bida tōün-dü
 日 できるようになったのだろう。決して生まれつき知っていたのではない。私たちが彼に

9a1 蒙 nibsire=tele : 「トド」 には対応する語がない。

9a2 満 hūlambi : 「読む、読みあげる」 の意。

9a3 托 güyiče=ya : 語尾と語幹は母音調和に合わない。

9b2 蒙 sur=ji : sur=ci という形が期待される。トド文字の子音字 <č> の字形に引かれてこのように書かれたものであろう。

10a

- 1 満 isirakūngge ya ba. i ai hacin i urehe
 蒙 kur=ku ugei gajar ha bui. tere yamar juil+er bolbosur=san
 托 kür=kü ügei yaǰar xā bui. tere yamar jüyil+ēr bolbosur=san
 日 到達できない 所はどこにあるか。 彼が どんなに 熟達し、
- 2 満 bahanaha okini, muse damu mujilen be teng seme jafafi
 蒙 mede=sen bol=tugai, bida gakca setkil+i cingga batu bari=ji
 托 mede=sen bol=tuyai, bida yaqča sedkil+i čingya batu bari=ji
 日 知っているとしても、 私たちは ただ 心を しっかりと 持って、
- 3 満 gūnin sithūme tacici, udu tere ten de isiname muterakū
 蒙 sanan šimda=ji sur=hūna, kedui tere tuil+du kur=ci cida=hū ugei
 托 sanā šimda=ji sur=xuna kedūi tere tūyil-dū kür=či čida=xu ügei
 日 心をこめて 学ぶならば、いくら その 極みに 達することができなく

10b

- 1 満 bicibe, inu urunakū haminambidere ..
 蒙 bol=bacu, basa erke ugei šaha=na boidze ..
 托 bol=boču, basa erke ügei šaxa=na buyiǰa.
 日 ても、 また 必ず 近づく だろう。」

『三合語録』の第4話、「トド文字一百条」の第1話

- 2 満 niyalma seme jalan de banjifi ujude tacire be
 蒙 kumun ge=kci yertuncu-du tur=ut yeke erkin kerek cini sur=ho+igi
 托 kümün ge=ji yertünčü-dü tör=ōd, yeke erkin kereq čini sur=xu+yigi
 日 「人 として 世の中に 生まれて、とても 大事な ことは 学ぶことを
- 3 満 oyonggo obuhabi. bithe hūlarangge, cohome jurgan giyan be
 蒙 erkin bolgo=ji. bicik ungsi=hū ni, cohom jurum jui+gi
 托 erkin bolǰo=ji. bičiq ungši=xu ni čoxom jurum jüyi+gi
 日 大切にした。 書物を 読むことは とりわけ 義 理を

10a1 満 ya ba : 「(到達できないのは) 何処」の意。

10b2 満 ujude : 「第一に」の意。

10b2 托 ge=ji : 書き換えた跡がある。

11a

- 1 満 getukelere jalin. tacifi jurgan giyan be getukelehe sehede,
 蒙 mede=ku tula baha. sur=sar jurum jui+gi todo mede=ksen hoino,
 托 mede=kü tula baxa. sur=sār jurum jūyi+gi todo mede=qsen xoyino,
 日 知る ためである。学んで 義 理を 明らかに 知った 後には、
- 2 満 boode bici niyaman i jakade hiyoosulame mutere,
 蒙 ger+te bol=hūna, ecige eke-yen jaha+du acila=ji cida=hū,
 托 ger+te bol=xuna, ečige eke-yin jaxa+du ačila=ji čida=xu,
 日 家に あっては、父母の 傍で 孝行することができ、
- 3 満 ejen de hūsun bume mutere be dahame, ai ai baita be
 蒙 ejen-du kuci bari=ji cida=hū tula, hamuk kerek
 托 tūšimeḷ su=bala[!], ulus törö+dü küči bari=ji čida=xu tula, xamuq kereq
 日 主君に 力を 尽くすことができるので、すべてのことが

11b

- 1 満 ini cisui mutebumbi. te bicibe, unenggi taciha erdemu bici,
 蒙 jayan+dan butu=nai bisio. odo bol=bacu, uner sur=sar cidaburitai bol=hona,
 托 jāyān+dān bütü=ne bišiü. odō bol=boču, ünēr sur=sār čidaburitai bol=xuna,
 日 自ずから成就するではないか。今でも、 本当に学んで 才徳を 持てば、
- 2 満 yaya bade isinaha manggi, niyalma kundulere teile waka,
 蒙 ali gajar-tu kur=sun hoina, kumun kundule=ku tedui biši,
 托 ali yaǰar kü[... xoyin]o, kümün kündül=kü tōdūi biši,
 日 どんな所に 至っても、 人が 尊敬する だけでなく、
- 3 満 beye yabure de inu hoo sembi. ememu urse bithe
 蒙 beye yabu=hū-du hoor šor baha. jarim ulus bicik
 托 beye yabu=xu-du xor šor baxa. jarim ulus bičiq
 日 自らの行いに於いても 昂然としているのだ。ある 人たちは 書物を

11a3 托 tūšimeḷ su=bala[!], ulus törö+dü : 「官吏になれば、国政に」の意。su=bala の語尾を書き換えた跡があり、元の字形は su=xulā に見える。『語録』では ejen-du 「主に」が対応している。

11b2 托 kü[... xoyin]o : 字形の一部は不明。

11b3 満 inu : 「また」の意。モンゴル語訳、および「トド」にはこれに対応する語がない。

12a

- 1 満 hūlarakū, yabun be dasarakū bime, elemangga gūldurame
 蒙 ungsi=h'ū ug'ei, yabudal+i jas=hū ugei bol=ot{.} harin gūlduri=ji
 托 ungši=xu ügei, yabudal+i jasa=xu ügei bol=öd, xarin yūlduri=ji
 日 読まず、 行いを 修めずに、 却って 密かに企み
- 2 満 haldabašame yabure be bengsen sembi. terei gūnin de adarame
 蒙 bildoocile=ci yabu=ho+igi tengketei ge=sen. tere sanan-duni yeo
 托 bildöüčile=ji yabu=xu+yigi tengkētei ge=sen. tere sanān-duni you
 日 媚びへつらって振る舞うことを才能があるという。その 考えで 何に
- 3 満 oki sere be sarkū. bi yargiyan i ini jalin girumbi kai.
 蒙 bol=o=ya ge=ku+igi mede=ku biši. bi uner teon+i tula ice=nei baha.
 托 bol=u=ya ge=kū+yigi mede=kū biši. bi ünēr tōün+i tula iče=nei baxa.
 日 成ろうというのか 分からない。私は本当に そういう人のために恥じるのだ。

12b

- 1 満 ere jergi urse beye gūtubure yabun efujere teile akū,
 蒙 ene jerge ulus beye gūtu=hū yabudal ebdere=ku todui biši,
 托 ene jerge ulus, beye yutu=xu yabudal ebder=kū tōdūi biši,
 日 その類の 人達は 身を 辱め、 行いを 損なう だけでなく、
- 2 満 ini ama aja seme inu niyalma de toobumbi kai.
 蒙 teon+i ecige eke ci bol=ba mun kumun-du harakda=hū baha.
 托 tōün+i ečige eke či bol=ba, mün kümün-dü xaraqda=xu baxa.
 日 彼の 父 母 さえも、 同様に 人に 罵られるのだ。
- 3 満 age si bai gūnime tuwa. ama eme i kesi de
 蒙 abagai ci juger sana=ci uje=. ecige eke-yen aci
 托 abayai či jūgēr sana=ji üje=. ečige eke-yin ači,
 日 兄上、あなたは ただ 考えて見なさい。 父 母の 恩は

12a1 蒙 ungsi=h'ū ug'ei : 子音字 <h> の圈と <g> の点が欠落している。

12b2 托 xaraqda=xu : 13a3 の xarālyā=xu+du と動詞の語幹は同じであるが、ここでは二番目の母音に長音符号がない。

12b3 蒙 sana=ci : 『語録』の並列の副動詞語尾 =ci は基本的に子音字 <b, k, r, s, t> で終わる語幹に付くが、ここは母音字で終わる語幹に付いている。トド文字の子音字 <j> の字形に引かれたものか。

13a

- 1 満 jui oho niyalma tumen de emgeri karulame mutembio{.}
 蒙 kubuon bol=o=ksan kumun tumen-du nigente hariola=ji cida=nao.
 托 küböön bol=u=qsan kümün, tümen-dü nigente xariula=ji čida=nu.
 日 子と なった 人が 万に 一度も 報いることができようか。

- 2 満 fiyan nonggime eldemburakū oci joo dere. fudaramé
 蒙 ungku neme=ji geigul=ji ese cida=bacu boidza. harin
 托 önggü neme=ji geyigül=ji ese čida=bala büyiq[!]. xarin
 日 面目を増し 輝かせることができなくてもよい。 却って

- 3 満 niyalma de firume toobure de isibuci, tere
 蒙 kumun-du haralga=hū+du kur=bele, tere cini
 托 kümün-dü xarālya=xu+du kür=bele, tere čini
 日 人に 罵られることに 至れば、 それは

13b

- 1 満 gusherakūngge ai ombi. erebe kimcime gūniha de,
 蒙 udel=ku ugei ni yamar yeoma bol=hū bui. un+i kina=ji sana=hūla,
 托 üdele=kü ügei ni yamar youma bol=xu bui. öün+i kina=ji sana=xulā
 日 見込みが ないのは 仕方がない。 これを 仔細に 考えるならば、

- 2 満 niyalma ofi bithe hūlarakūci ombio. yabun be
 蒙 kumun bol=ot bicik ungsi=hū ugei bol=hūna bol=noo. yabudal+i erkin
 托 kümün bol=ōd, bičiq ungši=xu ügei bol=bala[!] bol=nu. yabudal+i erkin
 日 人として 書物を読まないで いいのか。 行いを 大切に

- 3 満 dasarakūci geli ombio ..
 蒙 bolgo=hū ugei bol=hūla bol=noo ..
 托 bolγo=xu ügei bol=[xu]lā bol=[n]u :: . ::
 日 しないで いいのか。」

13a2 托 büyiq[!] : 書き換えた跡がある。意味は不明。

13a3 満 firume toobure : firu- と too- はいずれも「罵る」の意。

13b2 托 bol=bala[!] : 語尾を書き換えた跡があり、元の字形は bol=xuna に見える。

13b3 満 geli : 「また」の意。モンゴル語と「トド」には対応する語がない。

13b3 托 bol=[xu]lā : 他の箇所との対応から bol=xulā と推定される。

13b3 托 bol=[n]u : 他の箇所との対応から bol=nu と推定される。

14a

『三合語録』の第5話、「トド文字一百条」の第2話

- 1 満 age si inenggidari ederi yaburengge, gemu aibide genembi.
 蒙 abagai ci eduri buri u+ger yabu=hū+dan, cuk haran ot=nai.
 托 abayai či ödür buri öü+gēr yabu=xu+dān, čuq xārān od=nai.
 日 「兄上 あなたは 毎日 ここを 通るのは いつも どこへ 行くのか。」
- 2 満 bithe hūlame genembi. manju bithe hūlambi wakao. inu. ne
 蒙 bicik sur=hai ot=nai. manju bicik sur=ji bai=nao. mun. odo
 托 bičiq sur=xai od=nai. manj'u bičiq sur=či bayi=nu. mün. odō
 日 「本を 学びに 行くのだ。」 「満洲語の本を学んでいるのか。」 「そうだ。」 「今
- 3 満 aici jergi bithe hūlambi. encu bithe akū. damu
 蒙 yamar jerge bicik jalga=ji bai=nai. ūburu bicik ugei. gakca
 托 yamar jerge bičiq jālγa=ji bayi=nai. öbörö bičiq ügei. γaqča
 日 どのような 本を 教わっているのか。」 「他の 本は ない。ただ

14b

- 1 満 yasai juleri buyarame gisun. jai manju gisun be
 蒙 mun odo kerekle=ku бага saga uge. basa manju ugen+i
 托 mün odō kereqle=kū baγa saγa üge. basa manj'u ügen+i
 日 ちょうど今 使う 少しばかりの言葉だ。 また、『清文
- 2 満 tacire oyonggo jorin i bithe bi. suwende ginggulere
 蒙 sur=hū jorilga tobciyan bicik bai=nai. tan+du darumal
 托 sur=xu jorilγa tobči+yin bičiq bayi=nai. tan+du darumal
 日 指要』の 本だ。」 「あなた達に 楷
- 3 満 hergen tacibumbio. akūn. te inenggi šun foholon. hergen
 蒙 ujuk jalga=ji bai=nao. ugei yeo. odo odur ahor. ujuk
 托 üjüq jālγa=ji bayi=nu. odō ödür axur. üjüq
 日 書を 教えて いるか、いないか。」 「今は 日が 短い。 字を

14a2 蒙 sur=ji : 脚注 9b2 を参照。

14a3 満 hūlambi : 「読む、読みあげる」の意。

14b1 満 yasai juleri : 「目の前」の意。

14b1 満 manju gisun be tacire oyonggo jorin i bithe : 漢語訳には「百條清語」とある。

14b3 満 akūn : モンゴル語には ugei yeo とあるが、「トド」には対応する語がない。

14b3 満 šun : 「太陽」の意。

15a

- 1 満 arara solo akū. ereci šun sidaraka manggi, hergen
 蒙 bici=ku culu ugei. oon+esu odur urtu bol=o=ksan hoino, ujuk
 托 biči=kū čola ügei. öün+ēsü ödür urtu bol=u=qsan xoyino, üjüq
 日 書く 暇が ない。これから 日が 長く なった 後で、 字を
- 2 満 arabumbi sere anggala, hono ubaliyambubumbi kai. age
 蒙 biciolkuser[!] ge=ku bai=tugai, harin orciol= ge=ne bišio. abagai
 托 bičiülgüsēr xarin orčiul= ge=nei bišiü. abayai
 日 書かせるだけでなく、 なお 翻訳しろと言うではないか。」「兄上、
- 3 満 bi bithe hūlara jalin, yala uju silgime aibide
 蒙 bi bicik umsi=hū tula, uner tologai ergi=ji ha
 托 bi bičiq ungši=xu tula, ünēr toloyoi ergi=ji xā
 日 私は 本を 読むために、 実際 頭が 回って どこを

15b

- 1 満 baihan'ahakū. musei ubai šurdeme fuhalı manju tacikū
 蒙 eri=ksen ugei. man+ai ene oiro torin yeru manju surgūli
 托 eri=sen ügei. man+ai ene oyiro tōrin, yerü manj'u suryuuli
 日 探してない。 私たちの この 付近には、 全然 満洲語の 学校が
- 2 満 akū. gūnici, sini tacire ba ai hendure. atanggı
 蒙 ugei. sana=bele, cini sur=hū gajar yeo kele=ku bui. kejiye
 托 ügei. sana=bala čini sur=xu yaǰara you kele=kū bui. kejiyā
 日 ない。思えば、 あなたが 学ぶ ところは 何というのか。 いつ
- 3 満 bicibe, bi inu bithe hūlanaki. mini funde majige
 蒙 bol=baci, bi basa bicik ungši=hai ot=nai. mini tula bahan
 托 bol=boču, bi basa bičiq ungši=xai od=nai. mini tula bāxan
 日 か、 私 も 本を 読みに 行く。 私 の ために 少し

15a2 蒙 biciolkuser[!] ge=ku bai=tugai : biciolkuser は「トド」の bičiülgüsēr と同じ語形であるが、ge=ku bai=tugai に対応する語は「トド」にない。対応している満洲語の意味は「書かせるだけでなく」である。

15a3 蒙 umsi=hū : 15b3 には ungši=hai という形が見られる。

15a3 満 uju silgime : 「頭を突っ込んで」の意。

15b1 満 baihan'ahakū : 子音字 <n> の点が欠落している。

15b2 托 kejiyā : この綴りは母音調和に合わない。18a2 には kejiye とある。

16a

1 満 gisureci ogoro. age si membe taciburengge be we
 蒙 medeol=ji bol=noo. abagai ci man+ai jalga=san kumu+igi ken
 托 medö[ül=ji] [bo]=nu. abayai či man+ai jāl̥ya=san kümü+yigi ken
 日 知らせることはできるか。」「兄上、あなたは私たちの教えて貰っている人を 誰だと

2 満 sembi. sefu sembio waka kai. mini emu mukün i ahün.
 蒙 ge=nei. baksi ge=neo bisi bahana. mino nige turul+i_yen aha.
 托 ge=nei. baqši ge=nü. biši baxana. mini nige töröl+iyin axa.
 日 言うか。先生と言うか。違うのだ。私の 一族の 年輩の人だ。

3 満 taciburele urse gemu meni emu' uksura i juse
 蒙 jalga=hū ele ulus cuk man+ai nige turul+i_yen kuoket
 托 jāl̥ya=xu ene ulus, čuq man+ai nige töröl+iyin küüked
 日 教えて貰う凡ての人たちは 皆 私たちの 一 族の 子

16b

1 満 deote, jai niyaman hūncihin umai gūwa niyalma akū. adarame
 蒙 deo+ner, basa uruk eligen tong uburu ulus ugei. yeo
 托 döü+ner, basa uruq eliken, tong öbörö ulus ügei. you
 日 弟たちだ。また 親戚たちで、 全然 他の 人は いない。なぜかと

2 満 seci, mini ahün inenggidari yamulambi. jabdurakū. ineku be
 蒙 ge=kune, minu aha edur buri yamala=nai. jabdu=hū ugei. man+ai ulus
 托 ge=küne, mini axa ödür būri yāmala=nai. čolo jabdu=xu ügei. man+ai ulus
 日 言えば、その年輩の人は 毎日 役所に勤めている。 間に合わない。 私たちは

3 満 erde yamji nandame genere jakade. arga akū šolo jalgiyanjafi
 蒙 ūron e[!]sgon ayan+i uje=ji ot=hū tula, arga yad=at culu argaca=ji
 托 öröün asyun ayi+yi*ni üje=ji od=xu tula, ar̥ya yad=ād čolo ar̥yača=ji
 日 朝に 晩に 都合を 見て 行くので、 どうにか 暇をやりくりして

16a3 満 taciburele : tacibure 「教わる」と ele 「一切の」が連結された形。モンゴル語では ele とあるが、「トド」では ene 「この」が対応している。

16a3 満 emu' : 母音字 u の補助記号（点）が欠落している。

16b2 托 čolo : 「暇」の意。『語録』には対応する語がない。

16b3 蒙 esgon[!] : asgon 「晩」の誤記。

16b3 満 nandame : 「無理強いして」の意。

17a

- 1 満 membe tacibumbi. uttu waka oci, age bithe hūlaki
 蒙 man+iigi surga=nai. im bisi bol=hūna. abagai bicik ungsi=ha od=o=ya
 托 man+iyigi surya=nai. biši bol=xuna abayai bičiq ungši=xā od=u=ya
 日 私たちに 教えている。 そうでなければ、 兄上が 書物を読みに行こう
- 2 満 serengge sain baita kai. sini funde majige gisureci minde
 蒙 ge=kci*nai[!] sain kerek boidza. cini tula bahan kele=kune nada
 托 ge=qči*ni, sayin kereq buyiḡa. čini tula bāxan kele=kūne, nada
 日 と言うことは いいことだろう。 あなたの 為に 少し 言っても 私に
- 3 満 geli ai fayambi ..
 蒙 basa yun hortui bui ..
 托 basa youn xortoi bui :: . ::
 日 また 何の 害があろうか。」

17b

『三合語録』の第6話、「トド文字一百条」の第3話

- 1 満 ecimari ceni bithe be šejilebuci, emke emke ci eshun.
 蒙 ene uklu teden+ai bicik-gi cejile=kuni, nige nigen+esu teokei{.}
 托 ene öröün teden+ei bičiq čējil=kūni, nige nigen+ēsü tūūkei.
 日 「今 朝 彼らの 本を 暗唱させれば、 一人 一人が 未熟だ。
- 2 満 ek seme gahūšame deng seme ilinjambi. tede bi
 蒙 tede=ji kele=ji cida=hū ugei dak ge=ji joksolḡa=nai. tun+du bi
 托 tede=ji kele=ji čida=xu ügei, daq ge=ji joqsolča=nai. tōün-dü bi
 日 つかえて、話せずに、 呆然と 立ち尽くしている。 そこで 私は
- 3 満 takasu. mini gisun be donji. bithe hūlaci tetendere
 蒙 tur baija. minu uge+igi sonos=. bicik ungsi=bala tedu
 托 tür bayiḡa. mini üge+yigi sonos=. ta manḡ'u bičig+i ungši=bala, t[edü]
 日 『ちょっと待て。私の言葉を 聞け。 本を 読むなら、 ただちに

17a1 満 uttu : モンゴル語には im とあり、「トド」には対応する語がない。

17a2 蒙 ge=kci*nai[!] : ge=kci*ni 「と言うことは」の誤記。

17b3 托 ta manḡ'u : 「あなた達は満洲の」の意。『語録』には対応する語がない。

17b3 托 t[edü] : 『語録』のモンゴル語の tedu に対応しており、またいずれも満洲語の 18a1 の uthai に対応している。この行の満洲語の tetendere は「～するからには」の意であり、対応するモンゴル語がない。

18a

- 1 満 uthai hing seme tacicina. ere gese ton arame untuhun
 蒙 nige sana+gar surga=nai. ene butur to ki=ju hoosun
 托 [n]ige sanā+yār surya=nai. ene bütür*tō ki=ji xoyiš[..]n
 日 一生懸命 教える。 このように数を揃えて 虚
- 2 満 gebu be gaici, atanggi dube da tucimbi. yala suwe
 蒙 nere-gi ab=u=bala, kejiye eki turoo gar=nai. uner ta
 托 nere ab=u=bala, kejiye eki türüü yar=nai. ünēr ta
 日 名を 取るなら、 いつ 頭が 出るか。 実際 あなた達が
- 3 満 inenggi biya be mekele manabuha sere anggala, bi inu
 蒙 odur sara+igi talar burulkuser[!] ge=ku bai=tugai, bi ci
 托 ödör sara+yigi talār bürülküsēr[!] bi či
 日 月 日を 無駄に 送るだけでなく、 私 も

18b

- 1 満 mekele hūsun baibuha kai. eici suweni beyebe suwe
 蒙 talar kuci gar=nam baha. ese*ge=kune tan+ai beye-gi ta
 托 talār küči yar=nam baxa. ese ge=küne tan+i beye+yigi ta
 日 無駄に 力を 出すことになる。 そうでなければ、あなた達の 身を あなた達が
- 2 満 sartabuhao. eici bi suwembe tookabuhao. ciksika amba
 蒙 sata=ba ge=neo. ese=kune bi tan+i satul=ba ge=neo. idersi=sun ike
 托 sāta=ba ge=nü. ese ge=küne bi tan+i sātul=ba ge=nü. iderši=sen yeke
 日 妨げたというのか。それとも 私があなた達を妨げたというのか。 成年した 大人の
- 3 満 haha oso nakū, gisurere gojime donjirakū. šan de donjire gojime,
 蒙 ere bol=ot, kele=becigi cingna=hū ugei. cikin-du sonos=bacigi,
 托 ere bol=öd, kele=be čigi čingna=xu ügei. čikin-dü sonos=ba čigi
 日 男に なって、 言っ て も 聞かない。 耳に 聞こえても

18a1 托 bütür*tō : bütür は満洲語の gese 「～のような」に、tō は満洲語の ton 「数」に対応している別々の単語と見なされる。

18a3 蒙 burulkuser[!] ge=ku bai=tugai : burulkuser は「トド」の bürülküsēr に対応する語形であるが、「トド」には ge=ku bai=tugai に対応する語はない。対応している満洲語の意味は「送るだけでなく」である。

18b1 蒙 ese*ge=kune : 「トド」の ese ge=küne に対応している。ese と ge=kune の二つの単語が繋げて書かれているが、18b2 の ese=kune はこれの短縮された形と見なすことができる。

19a

- 1 満 gūnin de teburakū. dere jaci silemin bai. mini
 蒙 sanan-du tokto=hū ugei{.} nuor dan dujir bišio. mini
 托 sanān-du toqtō=xu ügei. nüür tani dān dujir bišiü. mini
 日 心に 停めない。 顔は とても硬く（厚く）ないか。 私の
- 2 満 ere gosihon gisun i gisurere be{,} suwe ume gejenggi sere.
 蒙 ene gašun uge+igi kelelce=kui-gi, ta bitugei yarik ge=.
 托 ene yašoun üge+yigi, ta bitügei yariq ge=. bitügei seb eri=nē ge=.
 日 この 苦い 言葉を 言うのを、 あなた達は うるさいと言うな。
- 3 満 te bicibe, mini beye alban kame funcehe šolo de,
 蒙 odo*ci bol=ba, mini beye alba ha=ji ulde=sen culun-du,
 托 odō čī bol=ba, mini beye alba xā=ji ülde=sen čolo+dur
 日 今 でも 私は 役所に勤めて 残った 暇に

19b

- 1 満 majige ergeci oihori. baibi suwende ere tere
 蒙 bahan amur=han[!] yun bi. bain bain tan+tai eige=ji tege=ji
 托 bāxan amur=xana youn bi. bayin bayin tan-tai eyige=ji tege=ji
 日 少し 休んでも 何がある。 しばしば あなた達と あれ これ
- 2 満 serengge ai hala. ineku giranggi yali ofi, suwembe
 蒙 kelelce=ji yeo ge=nei. mūn ku turul aimak tula, tan+i
 托 kelelče=ji you ke=nei. mūn kü töröl ayimaq tula, tan+i
 日 話をして 何になるか。 やはり 親戚だから、 あなた達が
- 3 満 hūwašakini, niyalma okini sere gūnin kai. te arga
 蒙 saiḡir=tugai kumun bol=tugai ge=ku sanan bišio. odo arga
 托 sayiḡir=tuyai kümün bol=tuyai ge=kü sanān bišiü. bi odō arya
 日 良くなれ、 一人前になれ という思いではないか。 今 策が

19a1 托 tani : 「あなた達の」の意。『語録』には対応する語がない。

19a2 満 gisurere be: モンゴル語に kelelce=kui-gi とあるが、「トド」には対応する語がない。

19a2 托 bitügei seb eri=nē ge= : 「あら捜しををすると言うな」の意。『語録』には対応する語がない。

19b1 蒙 amur=han[!] : amur=hana 「休んでも」の誤記。

19b2 満 ai hala : 「何とすることか」の意。「トド」の you ke=nei も同じ意味である。

19b3 托 bi : 「私は」の意。『語録』には対応する語がない。

20a

- 1 満 akū oho. bi damu saikan suwembe tacibume mini teisu
 蒙 yada=ba. bi dang saidur tan+iigi ja=ji mini hūbi-yen
 托 yada=ba. bi dang sayitur tan+iyigi ĵā=ĵi mini xubi+yin
 日 尽きた。私は ただ よく あなた達を教えて 私の 自分の
- 2 満 baita be akūmbuci wajiha. donjire donjirakūngge suweni ciha
 蒙 kerek tuša=h+asu bisi, sonos=hū ulu sonos=hū*ni tan+i dur+ar
 托 kereq tušā=x+āsu biši, sonos=xu ūlū sonos=xu ni tan+i dur+ār
 日 仕事を 果たすだけで、聞く 聞かないは あなた達の好きに
- 3 満 dabala. mimbe aina sembi ..
 蒙 bol=o=ya. nama+igi yaha=ya ge=nei ..
 托 bol=u=ya. nama+yigi ya=ya ge=nei :: . ::
 日 任せよう。私を どうしようというか。』

20b

『三合語録』の第7話、「トド文字一百条」の第4話

- 1 満 si nikan bithe bahanara niyalma kai. ubaliyambure be tacici
 蒙 ci kitat bicik cida=hū kumun bišio. orciol=ho+igi sur=bele
 托 či kitad bičiq čida=xu kümün bišiü. orčiul=xu+yigi sur=bala,
 日 「あなたは 漢文が できる 人ではないか。 翻訳を 学べば
- 2 満 nokai ja. damu gūnin sithūfi giyalan lakcan akū emu anan i
 蒙 tung kimda baha{.} yeru sana kice=ji tasural ugei jerge+ber
 托 tong kimda baxa. yerü sanā kičē=ji tasural ügei jerge-bēr
 日 とても簡単だ。ただ 一生懸命に 中断せず 続けて
- 3 満 tacire ohode, manggai juwe ilan aniyai sidende, uthai
 蒙 sur=hū bol=hūla, kecurge=beci hoyor gūrbān jil+iye horon+du, jayan+dan
 托 sur=xu bol=bala[!] xoyar yurban jil+iye xōron-du, ĵayān+dān
 日 学ぶ なら、 どうしても 二・三 年の 間に おのずから

20a2 満 akūmbuci wajiha : 「心力を尽くせば終わりだ (= 尽くすだけだ)」の意。

20b3 托 bol=bala[!] : 語尾を書き換えた跡がある。元の字形は bol=xulā に見える。

20b3 満 manggai : モンゴル語では kecurge=beci が対応しているが、「トド」には対応する語がない。

21a

- 1 満 sain de isinaci ombi. aika folkolome tacire, alhata i
 蒙 saiḡir=hū yeoma. kerbe nige odur sur=at, hoyor odur
 托 sayiḡira=xu youman. kerbe nige ödür sur=ād, xoyor ödür
 日 上達する ものだ。 もしも 一日 学んで 二日
- 2 満 hūlara oci, udu uju šaratala taciha seme inu mekele ombi.
 蒙 onḡi=bala, darui tologai cai=tala unḡsi=bacu mun talar baha.
 托 [önḡi]=bele, darui xorin ḡil bičiq unḡši=ba ču mün talār baxa.
 日 過ごせば すなわち 頭が 白くなるまで 読んでも、 やはり無駄なのだ。」
- 3 満 age ere mini ubaliyambuhangge. bahaci majige dasara biheo.
 蒙 abagai ene mini orciol=o=ksa*ni. uje=ḡi bahan ḡasa=ḡi hairla=.
 托 abayai mini orčiul=u=qsan+i üḡe=ḡi, bāxan ḡasa=ḡi xayirla=.
 日 「兄上、 私の 翻訳したものだ。 見て 少し 直して ください。」

21b

- 1 満 sain kai. sini tacihangge neneheci labdu nongḡibuha. ḡisun tome
 蒙 sain bišio. cini sur=su*ni yeke neme=ḡi. uge buri
 托 čini sur=su*ni yeke neme=ḡi. üge būri
 日 「いいでしょう。あなたの 学んだことは 多く 増えた。 語は みな
- 2 満 ijishūn. hergen aname tomorhon. majige cilcin fuka akū.
 蒙 ayatai. ujuk buri todo. bicihan ci gaba ugei.
 托 ayitai üḡüq būri todo. bičixan čī ḡaba ügei.
 日 流暢で 文字は みな 明瞭だ。 少しも 欠点が ない。
- 3 満 simneci seferehei bahaci ombi. ere mudan bithesi simnere de
 蒙 silḡa=ḡi oci=bele bai=sar oro=hū yeoma. ene uda biciyeci silḡa=hū+du
 托 šilya=ḡi üḡe=bele, bari=sār oro=xu youman. ene udā bi[čiye]či šilya=xu-du,
 日 受験して みれば、 すぐ 受かる はずだ。今回、 筆帖式の 試験に

- 21a1 満 folkolome tacire, alhata i hūlara oci : 「隔てて学び、偏って読むならば」の意。
 21a2 托 xorin ḡil bičiq unḡši=ba ču : 「二十年本を読んでも」の意。『語録』の「頭が白くなるまで読んでも」と表現が異なる。
 21a3 満 ere : モンゴル語では ene が対応している。「トド」には対応する語がない。
 21a3 満 bahaci : 「宜しければ」の意。モンゴル語では uje=ḡi が対応している。『語録』と「トド」の句点の位置が異なる。
 21b1 満 neneheci : 「以前より」の意。モンゴル語には対応する語がない。

22a

- 1 満 si gebu alibuhao akūn. simneci oci,
 蒙 ci nere yabuol=boo ugei yeo. silga=ji bololtai bol=bala,
 托 nere yabuul=bu ügeyi*yü. šilγa=ji bolultai bol=bala,
 日 あなたは名前を提出したか してないか。」「受験することができるなら
- 2 満 esi gebu alibuci, damu meni bithei šusai ainahai
 蒙 neng sain yeoma sanji. gakca mantai bicig+iyen šusai yaga=ji
 托 neng sayin youman sanji. γaqča bičig+iyin šu[sa]i y[aya=ji]
 日 非常によいことだろうに。ただ、我々の 文 秀才は どうして
- 3 満 ombini. ere wei kooli, sini gesengge jakūn
 蒙 bol=hū bui. ene cini han+asu gar=san haoli, cini adali naiman
 托 bol=xu bui. ene čini xan+āsu γar=san xouli, čini adali nayiman
 日 できるか。」「それは どこから出た きまりか。あなたと 同じ 八

22b

- 1 満 gūsangge gemu simneci ombime. sini teile simneburakū
 蒙 hoošoon+ai cum silga=ji bol=hū bai=tala, cima+igi gancar silgool=hū ugei
 托 xošiun+i šusai čöm šilγa=ji bol=xu bayi=tala, čima+yigi γaǰar[!] šilγuula=xu ügei
 日 旗の 皆 受験することができるのに、あなたを 一人だけ 受験させない
- 2 満 doro bio. tere anggala, jurgangga tacikūi juse
 蒙 yoso bai=noo. tereci bai=tugai, jurumtu surgal+i_yen kuoket
 托 yosu bayi=nu. tere čī bayi=tuγai, ĵurum-tu surγal+iyin kүүked
 日 道理があるか。それだけではなく、義 学の 子弟たちが
- 3 満 hono ojoro bade, šusai be ai hendure.
 蒙 cum bol=hū bol=ot, šusai-gi yun kele=ku bui.
 托 čöm bol=xu bol=ōd, šusai-gi you kele=kū bui.
 日 皆 大丈夫なのに、秀才は 言うまでもない。

22a1 満 si : モンゴル語では ci が対応している。「トド」には対応する語がない。

22a2 満 esi gebu alibuci : 「勿論名前を提出すれば」の意。モンゴル語の表現と異なる。

22a2 満 meni : モンゴル語では man+ai が対応している。「トド」には対応する語がない。

22b1 托 šusai : 「秀才は」の意。『語録』には対応する語がない。

22b1 托 γaǰar[!] : γančar 「一人だけ」の誤記。

23a

- 1 満 simneci ome ofi, mini deo teni hachiyame
 蒙 silga=ji bol=hū tula, mini deo ene horon+du saya šarda=ji
 托 šilya=ji bol=xu tula, čini döü ene xōron-du saya šārda=ji
 日 受験できる ので、 私の 弟は この間 ようやく 急がせて
- 2 満 ubaliyambure be tacimbikai. hūdun gebu yabubu. nashūn be
 蒙 orciol=hū-gi sur=ji bai=nai. hūrdun nere yabuol=. cak-gi
 托 manj'u bičiq jāl̄ya=ji bayi=nai. xurdun nere yabuul=. čag+i
 日 翻訳を 学んで いる。 はやく 名前を提出しなさい。時機を
- 3 満 ume ufarabure ..
 蒙 bitugei alda= ..
 托 bitügei alda= :: . ::
 日 失うな。」

23a1 托 čini : 「あなたの」の意。『語録』には満洲語もモンゴル語も「私の」とある。

23a1 蒙 ene horon+du : 満洲語には対応する語がない。「トド」では ene xōron-du とある。

23a2 托 manj'u bičiq jāl̄ya=ji : 「満洲語の書物を教わって」の意。『語録』と表現が異なる。

5. おわりに

『三合語録』は、過去のモンゴル語を満洲文字によって表記した文献である。『三合語録』の場合、モンゴル語テキストの原本と比定される「トド文字一百条」の発見とテキストの比較・同定により、満洲文字で表記されている「過去のモンゴル語」はオイラート文語であることが明らかになった。しかし、もし「トド文字一百条」が無かったとしたら、『三合語録』のモンゴル語がオイラート文語あるいはオイラート方言に基づいているということを特定するのは、極めて困難だったことが予想される。

一般に、「満洲文字で表記されたモンゴル語」における満洲文字の使われ方には、大きく二つの可能性を考えることができる。その第1は、「満洲文字の表記がモンゴル語の音を忠実に反映している」という可能性である。この場合、表音文字としての満洲文字は、一種の音声記号としてモンゴル語の音を写しており、満洲文字の綴りがそのまま元のモンゴル語の発音を表していることになる。満洲文字表記のローマ字転写は、すなわち元のモンゴル語のローマ字転写ないしは音声表記とみなすことができる。第2は、「満洲文字の表記は、モンゴル語の音を満洲語の音に置き換えたものである」という可能性である。この場合、満洲語に無いモンゴル語の音（の違い）は、満洲文字では区別されず、それに近い音を表す満洲文字に置き換えて写されることになる。満洲文字表記のローマ字転写は、満洲文字に置き換えた読み方のローマ字転写であり、元のモンゴル語の音はそれを手がかりに推定しなければならない。

「2. テキストとローマ字転写について」で指摘したように、『三合語録』の満洲文字表記は、普通の満洲語の表記に用いられているのと同じである。つまり、満洲文字に新たな文字や識別符号のような記号は加えられておらず、字母の種類と数は同じである。また、その綴りに関しても、特別な文字の組み合わせや満洲語に無い綴りが用いられることもなく、満洲語の正書法に合致している（注11）。この事実に合わせて、第1の可能性を仮定してみると、表記されているモンゴル語は満洲語と同じ数の音を有していることになる。母音についても、そのモンゴル語は満洲文字の母音字 <a> <e> <i> <o> <u> <ū> で表記される6種類の母音を有していたことになる。これに対して、第2の可能性を仮定した場合、モンゴル語で区別されている音の違いは満洲文字の表記に反映されていないことがありうる。母音についても、満洲文字の母音字 <a> <e> <i> <o> <u> <ū> は、満洲語の音に置き換えた表記であり、元のモンゴル語はそれ以外の母音を有していたという推定が成り立つ。

しかし、『三合語録』の満洲文字表記だけを手がかりにしている限り、それらのいずれの可能性も否定することはできない。一方の可能性が否定されない限り、いずれの可能性も推定の域を越えることはできない。もちろん、満洲文字表記モンゴル語テキストの中の「方言的要素」「口語的要素」といった特徴を手掛かりにして、いずれか一方の可能性を高めて

いくことはできるであろうが、テキストの中だけでそれを検証することは不可能である。いずれか一方の可能性が検証されるのは、唯一、テキストの表記が実際に存在する（あるいは存在した）モンゴル語（方言）に比定された場合である。つまり、満洲文字で表記されているモンゴル語が、どのモンゴル語（方言）だったかを特定することができて初めて、そのモンゴル語（方言）と比較しながら満洲文字で表記されている元の音を明らかにすることができる。

『三合語録』において満洲文字で表記されているモンゴル語が「トド文字一百条」のオイラート文語であるというのは、本論考のテキストの比較によって示したように、疑う余地は無い。満洲文字表記の元のモンゴル語が明らかになったことにより、満洲文字の個々の母音字が実際は、個々の単語でどのような母音を写していたのか、その詳細が明らかになった。オイラート文語のトド文字と満洲文字との対応は、トド文字の同じ文字が常に満洲文字の同じ文字で置き換えられているわけではなく、語によってまた場合によって異なった満洲文字で写されている。これから、オイラート文語を満洲文字で表記する際に、トド文字をあらかじめ作っておいた規則に従って機械的に置き換えたのではなく、その発音を考慮しながら満洲文字で写したことが分かる。

『蒙古托忒集』に収録されている「トド文字一百条」は、『三合語録』の最初の 7 話だけであるが、『三合語録』の成り立ちを明らかにする上で、極めて大きな進展をもたらした。

『三合語録』全 102 話のうち、最初の 7 話とそれ以降の部分との間で、使用されている語彙や語尾で特に際立った違いを指摘することはできないことから、残りの 95 話のモンゴル語も、最初の 7 話と同じようにオイラート文語を満洲文字で写すことによって制作されたものと考えられる。これを根拠にすれば、「トド文字一百条」7 話だけでなく、全 102 話から成る『tanggū meyen（一百条）』のオイラート文語の翻訳が存在していたと推定することができる。

「トド文字一百条」の 7 話と『三合語録』の満洲文字表記モンゴル語との比較によって明らかになったトド文字と満洲文字の対応に基づいて、『三合語録』の残りの 95 話についてもかなりの確かさをもってオイラート文語の原文を再構することが可能となる。すなわち、『三合語録』は、当時のオイラート文語の特徴を明らかにする上で貴重な資料として位置付け、再評価されるべきであろう。

最後に、本論考は『三合語録』にとどまらず、その類書である『初学指南』の成立の過程にも光を当てるものであることを指摘しておきたい。『初学指南』は、『三合語録』の著者富俊が乾隆甲寅（1794）年に出版した上下 2 冊の木版本で、その内容は『三合語録』と同様、『tanggū meyen（一百条）』の満洲語をモンゴル語に訳したもので、モンゴル語はすべて満洲文字で表記されている。栗林・斯欽巴図〔2009a : 16〕では、『初学指南』の満洲

文字表記モンゴル語も、『三合語録』と同様にオイラート文語に基づいて製作されたものであるが、『初学指南』では「オイラート文語や方言に特徴的な表現を内地のモンゴル人に分かりやすい表現に換えたものと考えられる」と指摘した。

本論考でみたように、『三合語録』のモンゴル語は「トド文字一百条」をそのまま満洲文字によって表記したものであるから、『初学指南』と『三合語録』との相違点は、すなわち『初学指南』を編集する際に元のオイラート文語を書き換え・あるいは書き加えた部分であるとみなすことができる。『三合語録』と共通のオイラート文語を写した部分と、『初学指南』で独自に書き換え・書き加えた部分とを峻別することによって、その言語的な特徴を明らかにするための確かな基礎を置くことができる。

注

- (1) 『三合語録』については、栗林均・斯欽巴図 [2009a : 7] を参照されたい。
- (2) 『tanggū meyen (一百条)』については、浦廉一・伊東隆夫 [1957] に詳しい。
- (3) 清文鑑では、乾隆 8 (1743) 年序の「御製滿蒙文鑑」、乾隆 45 (1780) 年序の『御製滿珠蒙古漢字三合切音清文鑑』で満洲文字でモンゴル語が表記されている。これらについては、栗林均 [2008 : 12-20, 22-27] を参照されたい。
- (4) 富俊と徳勒克については、栗林均・斯欽巴図 [2009a : 16] の〔注〕1)と6)を参照されたい。
- (5) Nagy [1960 : 271] は、「目下のところ私達は『三合語録』のモンゴル語を、未だ調査されていない東部モンゴル語方言として受け入れておくべきである」としている。
- (6) 文献目録では、李徳啓 [1933 : 29]、八省区蒙古语文工作协作小组办公室 [1979 : 222-223]、黄润华・屈六生 [1991 : 102]、《中国蒙古文古籍总目》[1999 : 1179-1180]、《北京地区满文图书总目》[2008 : 63-64] 等に記載がある。
- (7) たとえば、第五話冒頭の *cuk haran ot=nai* (いつもどこへ行くのか?) という表現は、極めて印象的であった。すべての単語と語尾が Позднеев [1911] 等のオイラート文語 *čuk* (すべて)、*xārān* (どこへ)、*od=* (行く)、動詞現在時制語尾 *=nai* と比定することができたからである。ちなみに、『初学指南』では、この個所は *cum ha oci=na* となっており、オイラートのでないことが対照的である。
- (8) モンゴル語のローマ字転写方式は栗林均・呼日勒巴特尔 [2006] による。*ȳ* は、母音字の前で点の無い <ȳ> を、「=」(イコール) は動詞の語幹と語尾との境界を表す。
- (9) 図 1. と図 3. は、東洋文庫所蔵本を、図 2. と図 4. は東京外国語大学附属図書館所蔵本による。論考の中では、東京外国語大学附属図書館所蔵による道光二十六年(1846)年の重版本を使用した。
- (10) 唯一、満洲語では普通用いられることのない <uo> という母音字の連続が見られる。
- (11) 注 (10) と同じ。

参考文献

<欧文>

John R. Krueger 1978-1984

Materials for an Oirat-Mongolian to English Citation Dictionary, The Mongolian Society, Part One(1978); Part Two(1984); Part Three(1984).

P.G. von Möllendorff 1892

A Manchu Grammar, with Analyzed Texts, American Presbyterian Mission Press.

L.J.Nagy 1960

"A contribution to the phonology of an unknown East Mongolian dialect", *Acta Orientalia Academiae Scientiarum Hungaricae*(B)10, 1960, pp.269-294.

G.J.Ramstedt 1935

Kalmückisches Wörterbuch, Suomalais-Ugrilainen Seura, Helsinki.

Б. Д. Муниев 1977

Калмыцко-русский словарь, Москва.

А. Позднеев 1911

Калмыцко-русский словарь, С.-Петербург.

Б.Х.Тодаева 2001

Словарь Языка Ойратов Синьцзяна, Калмыцкое книжное издательство, Элиста.

<日本語>

浦廉一、伊東隆夫 1957

「TANGGŪ MEYEN(清話百条)の研究」『広島大学文学部紀要』第12号、75-277頁。

栗林均・呼日勒巴特尔編 2006

『「御製滿珠蒙古漢字三合切音清文鑑」モンゴル語配列対照語彙』東北大学東北アジア研究センター。

栗林均 2008

「モンゴル語資料としての『清文鑑』」東北大学東北アジア研究センター『東北アジア研究』第12号、1-34頁。

斯欽巴図・栗林均 2008

『「三合語録」におけるモンゴル語の言語的特徴について－満洲文字表記モンゴル語会話学習書の口語的特徴－』2008年度日本モンゴル学会春季大会研究発表。

栗林均・斯欽巴図 2009a

『「初学指南」と『三合語録』におけるモンゴル語の特徴－満洲文字表記モンゴル語会話学習書の口語的特徴－』『日本モンゴル学会紀要』第39号(2009)、5-17頁。

栗林均・斯欽巴図 2009b

「tanggū meyen(一百条)のオイラート文語訳について」東北大学東北アジア研究センター『東北アジア研究』第13号、127-168頁。

<中国語>

北京市民族古籍整理出版规划小组办公室满文编辑部編 2008

《北京地区满文图书总目》辽宁民族出版社。

春花 2006

「论《蒙古托忒汇集》的语言学价值」《卫拉特研究》2006年第1期、62-70页。

春花 2008

『清代满蒙文词典研究』（中国蒙古学文库）辽宁民族出版社。

黄润华・屈六生编 1991

《全国满文图书资料联合目录》书目文献出版社。

李德啓 1933

『満文書籍聯合目録』国立北平図書館・故宫博物院図書館。

确精扎布、纳・格日勒图编 1998

《卫拉特方言词汇》内蒙古人民出版社。

烏恩奇、齐・艾仁才主编 2005

《四体卫拉特方言鉴》新疆人民出版社。

<モンゴル語>

X. Лувсанбалдан 1975

Тод үсэг, түүний дурсгалууд. БНМАУ Шинжлэх ухааны Академи Хэл зохиолын хүрээлэн.

O.サンボールドルジ、橋本勝 2005

『オイラト・モンゴル文語概説（*Тод монгол үсгийн бичгийн хэлний тойм*）』大阪外国語大学。

八省、区蒙古语文工作协作小组《蒙文和托忒蒙文》编写组编 1976

《蒙文和托忒蒙文（*ᠮᠣᠩᠭᠣᠯ ᠠᠨᠠᠭᠤ ᠠᠨᠠᠭᠤ ᠠᠨᠠᠭᠤ ᠠᠨᠠᠭᠤ*）》新疆人民出版社。

八省区蒙古语文工作协作小组办公室编 1979

《全国蒙文旧图书资料联合目录（*ᠮᠣᠩᠭᠣᠯ ᠠᠨᠠᠭᠤ ᠠᠨᠠᠭᠤ ᠠᠨᠠᠭᠤ ᠠᠨᠠᠭᠤ*）》内蒙古人民出版社。

确正扎甫、巴德玛等编写 1979

《蒙文和托忒蒙文对照 蒙语辞典（*ᠮᠣᠩᠭᠣᠯ ᠠᠨᠠᠭᠤ ᠠᠨᠠᠭᠤ ᠠᠨᠠᠭᠤ ᠠᠨᠠᠭᠤ*）》新疆人民出版社。

晓春 2006

「从《蒙古托忒汇集》看满文切音（《*ᠮᠣᠩᠭᠣᠯ ᠠᠨᠠᠭᠤ ᠠᠨᠠᠭᠤ ᠠᠨᠠᠭᠤ ᠠᠨᠠᠭᠤ*》）」《卫拉特研究》2006年第4期、88-93页。

晓春 2007

「从《蒙古托忒文[マ]汇集》看十九世纪蒙古语口语特征（《*ᠮᠣᠩᠭᠣᠯ ᠠᠨᠠᠭᠤ ᠠᠨᠠᠭᠤ ᠠᠨᠠᠭᠤ ᠠᠨᠠᠭᠤ*》）」《语言与翻译》2007年第2期、3-9页。

《中国蒙古文古籍总目》编委会编 1999

《中国蒙古文古籍总目（*ᠮᠣᠩᠭᠣᠯ ᠠᠨᠠᠭᠤ ᠠᠨᠠᠭᠤ ᠠᠨᠠᠭᠤ ᠠᠨᠠᠭᠤ*）》北京图书馆出版社。